

新型コロナ

相談窓口からのお知らせ

新型コロナワクチン相談窓口 ☎71-8780・FAX24-2005



ワクチン接種に関するよくあるお問い合わせ

Q 新たな変異株（XBB、BQ.1.1など）が出現したと報道されていますが、これらの変異株も含めて、BA.1対応型ワクチンとBA.4-5対応型ワクチンは効果がありますか。

現時点の知見を踏まえると、オミクロン株対応2価ワクチンによる接種は、オミクロン株の種類（BA.1とBA.4-5）に関わらず、従来型ワクチン接種を上回る効果がみられ、今後の変異株にも有効である可能性が期待されています。

オミクロン株対応2価ワクチン（BA.4-5対応型）の追加接種後の中和抗体価は、従来型ワクチンの3回目、4回目接種後と比較して、オミクロン株の亜種（BA.1、BA.5、BA.2.75.2、BQ.1.1、XBB）のいずれに対しても高かったという報告があります。

また、オミクロン株対応2価ワクチン（BA.4-5対応型）の有効性について、

○接種後約1か月において、新型コロナワクチン非接種者と比較して56%、従来型ワクチン接種後2～4か月の者と比較して31%、救急外来受診を減らす効果があった

○接種後約1か月において、新型コロナワクチン非接種者と比較して57%、従来型ワクチン接種後5～7か月の者と比較して38%、入院を減らす効果があった

という報告や、

○BA.4-5対応型による追加接種は、従来型mRNAワクチンのみを2回以上接種した者のう

ち、直近の接種から2～3か月の者や8か月以上の者と比較して、それぞれ18～49歳で30%と56%、50～64歳で31%と48%、65歳以上で28%と43%、発症を予防する効果があったという報告があります。

上記の報告はBA.4-5対応型ワクチンに関するものですが、現時点の知見を踏まえた専門家による検討では、免疫を刺激する性質を比較した場合、従来株と現在流行しているオミクロン株との差と比較すると、オミクロン株の中での種類（BA.1とBA.4-5）の差は大きくないことが示唆されています。オミクロン株対応2価ワクチンによる接種は、オミクロン株の種類（BA.1とBA.4-5）に関わらず、オミクロン株成分を含むことで、現在の流行状況では従来型ワクチンの接種を上回る効果がみられ、オミクロン株と従来株の2種類の成分が含まれることで、今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いことが期待されています。

そのため、従来型ワクチンによる最終の接種から3か月以上経過後の時点で接種可能な、オミクロン株成分を含むワクチンを接種いただくようお願いいたします。

Q オミクロン株対応ワクチンとは、どのようなワクチンですか。

オミクロン株対応ワクチンは、mRNA（メッセンジャーRNA）ワクチンの一つで、従来株（新型コロナウイルス感染症発生時の株のこと。オリジナル株、起源株ともいいます。）に由来とする成分と、オミクロン株に由来する成分の両方

を含む「2価ワクチン」です。従来のワクチン（従来株のみに由来する成分を含むワクチン）と比較して、オミクロン株に対する重症化・感染・発症予防効果が期待されています。

【厚生労働省HP、新型コロナワクチンQ&Aより抜粋】



医療メモ

歯科用インプラント治療について

本庄市児玉郡歯科医師会広報部

近年、歯科用インプラント治療は長期的に安定し予知性の高い治療法とされ、歯科治療において歯の欠損における有効で機能的な治療法として確立しつつあります。

インプラントとは、失ってしまった自分の歯の代わりに使用する人工の歯のことです。もともと医学用語で「植立する」という意味があります。失われた歯の場所に歯根の代わりになる人工の歯根（インプラント）を埋め込み、その上に人工の歯を取り付ける治療法を「インプラント治療」といいます。バネを使い歯茎の上に乗せる入れ歯とは違い、天然の歯と同じように根っこがあるのがインプラント治療の特徴です。インプラントを顎の骨と強固に結合させ、それを土台にして天然の歯と同じような人工の歯を取り付けるため、自分の歯とほとんど同じ感覚を取り戻すことができます。入れ歯のように取り外しの手間もなく、ブリッジのように健康な歯を削る必要もありません。残っている歯や顎の骨に負担をかけずに済むため、さらなる歯の喪失を防ぐことができるのもインプラント治療の大きなメリットです。

インプラント治療は、天然歯のような自然な見た目だけでなく、「噛む」「話す」といった日常生活の機能を回復することができるため、第2の永久歯と言われていきます。力強く噛め、天然の歯のような食感、美味しさを感じられるようになるインプラント治療を受ける方は年々増えています。

また、デメリットとしては「外科手術が必要」「保険外治療で治療費が高額になる」「治療期間が通常4～6か月と長くなる」などがあります。

治療後は、インプラントの歯周病であるインプラント周囲炎や、過剰な噛む力が過剰に偏ってかかることによるインプラントの脱落に注意が必要です。こうしたトラブルを予防して、インプラントをできるだけ長持ちさせるためには、歯科医院での定期的なメンテナンスと、しっかりとしたセルフケアが欠かせません。

天然歯のような審美性と、噛む・話すという機能の回復が可能なインプラント治療は、生活の質を下げない治療法です。興味のある方は、お近くの歯科医院にご相談ください。

休日・夜間の急病のときは…

▶ 本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所

☎ 23-3322

本庄市保健センター内で、内科系の比較的軽微な症状が軽く、入院の必要がない方の診療を行います。

※診療以外に関する問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。

▶ 診療日 日曜・休日・年末年始（12/30～1/3）・平日木曜日夜間

▶ 診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時（平日木曜日夜間は午後8時～10時）

※健康保険証を持参してください。

※夜間の診療は午後9時45分までに受付をしてください。

▶ 在宅当番医療機関 ▶ 診療時間 午前9時～正午

3月5日(日)	ヒグチクリニック	栗崎	☎ 25-5300
3月12日(日)	たにかわ眼科クリニック 本庄早稲田の杜	早稲田の杜3丁目	☎ 24-1121
3月19日(日)	松本産婦人科医院	千代田1丁目	☎ 24-3377
3月21日(祝)	森田整形外科クリニック	小島	☎ 23-1610
3月26日(日)	よしはら整形外科	児玉町長沖	☎ 73-1575
4月2日(日)	飯塚耳鼻咽喉科医院	上里町神保原町	☎ 34-2313
4月9日(日)	五十嵐整形外科医院	若泉1丁目	☎ 24-2313

※在宅当番医は変更になる場合がありますので、電話でご確認のうえ、お出かけください。

【お詫び】配布している広報ほんじょう3月号の「在宅当番医療機関」の内容に誤りがありました。4月9日(日)の在宅当番医は「飯塚内科小児科」ではなく、正しくは「五十嵐整形外科医院」になります。お詫びして訂正します。（本PDFでは修正済みです）

▶ 困ったときは電話相談（24時間・年中無休受付）

ほんじょう健康相談ダイヤル24（相談料・通話料無料）

☎ 0120-122-885

健康・医療・出産・育児・介護などの相談、医療機関情報の提供を行います。（市内在住者が対象）

埼玉県救急電話相談（通話料利用者負担）

☎ #7119

救急医療相談に看護師が対応します。健康相談・育児相談には対応しません。（大人・小児共通）

※IP電話、ひかり電話、ダイヤル回線からは☎048-824-4199 下記の電話番号からも救急電話相談が利用できます。

○小児救急電話相談 #8000 または☎048-833-7911

新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター

☎ 0570-783-770

FAX 048-830-4808（埼玉県感染症対策課内）

※発熱などの症状がある場合は、「埼玉県指定 診療・検査医療機関」に事前予約のうえ、受診してください。診療・検査医療機関が不明な場合は、埼玉県受診・相談センターへ。

☎ 048-762-8026

FAX 048-816-5801 } ※午前9時～午後5時30分

★119番は緊急時（火災やけが人など）の受付専用電話番号です。医療機関の情報は、[児玉郡市広域消防本部指令課](#) ☎24-1119でご案内します。診療科目によっては県外や本庄市・児玉郡以外の病院をご案内する場合があります。